

令和 7 年度
水戸市こども発達支援センター事業報告書



みとちゃん

令和 8 年 4 月
水戸市こども発達支援センター

目 次

1 職員構成	P. 1
2 事業内容	P. 1
3 療育指導委員会の活動について	P. 5
（参考）発達障害児（就学前）の連携機関	P. 6

1 職員構成

(1) センター

	所長	言語聴覚士	保育士	社会福祉士	事務	巡回訪問指導員	臨床心理士
職員	1	1		1			
会計			5	1	1	3	2

(2) 分室

	言語聴覚士	幼稚園教諭	保育士	事務
職員	3	6		
会計		1	4	3

※会計＝会計年度任用職員

2 事業内容

(1) 発達相談

臨床心理士を配置し、こどもの発達に不安を持つ保護者への相談支援を実施。相談者のニーズに応じ、社会福祉士・言語聴覚士などの専門職も相談支援に対応した。

相談・発達検査とも増加傾向にあり、福祉サービス利用に関する意見書の作成や福祉サービス利用に係る相談及び申請手続きを相談支援として実施した。

また、必要に応じて医療、保健、福祉、教育等関係機関との情報連携を図った。

ア 心理士による相談件数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 7	79	75	83	77	84	81	75	85	91	83	86	82	981
R 6	79	78	79	90	102	84	126	90	76	83	98	84	1,069
R 5	51	55	80	66	76	65	67	65	75	83	81	79	843

イ 社会福祉士による相談件数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 7	3	1	5	27	31	23	32	42	31	28	33	31	287
R 6	3	4	21	4	7	5	8	22	10	18	2	5	109
R 5	6	11	3	4	1	4	21	13	6	8	9	5	91

ウ センター利用者総数

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R 7	165	204	281	300	269	293	303	271	327	323	321	294	3,351
R 6	183	188	256	267	231	243	334	305	318	322	340	246	3,233
R 5	186	228	282	273	247	250	338	316	301	310	329	301	3,361

(2) 療育指導（個別・グループ）

保育士を配置し、こどもの発達に心配がある保護者と児童を対象に、親子通所による療育指導を実施。また、児童の発達特性や家庭状況に対応するため個別での指導も取り入れた。

ア グループの構成 ※ぱんだとこあらは、在籍児は週1回

- ・ぱんだグループ（3歳児、週1回）・・・4グループ
- ・こあらグループ（2歳児、週2回）・・・3グループ
- ・うさぎグループ（1歳児、週1回）・・・3グループ

イ 通所児実数

年齢 性別	1歳児	2歳児	3歳児	計	割合（％）
男	10	18	5	33	64.7
女	7	5	6	18	35.3
計	17	23	11	51	100.0

ウ 通所児の紹介経路

紹介経路	人数（人）	割合（％）
前年度からの継続	8	15.6
健診・育児相談等	21	41.2
病院	1	2.0
知人・兄弟姉妹	1	2.0
在籍園（所）・プレ等	5	9.8
インターネット・広報等（自己検索）	15	29.4
計	51	100.0

エ 通所児の進路

進路	人数（人）	割合（％）
在宅	0	0
継続通所	2	3.9
保育所（園）	9	17.7
幼稚園	4	7.8
認定こども園	21	41.2
児童発達支援	10	19.6
幼稚園プレ	2	3.9
転出	3	5.9
計	51	100.0

(3) 言語相談・指導

言語相談は、言語発達や発音・吃音等の相談を中心に相談支援を行った。言語指導は、60分を基本とし、一人に対し月1～2回の頻度で実施した。

・利用児延べ人数

年度		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R7	相談		10	10	20	14	12	13	13	9	10	14	11	13	149
	指導		10	15	16	17	19	17	19	15	20	28	25	27	228
R6	相談		10	17	19	22	18	18	20	14	21	20	21	5	205
	指導		17	6	8	14	13	20	21	28	29	33	30	13	232
R5	相談		20	17	27	15	19	16	20	14	19	13	15	15	210
	指導		31	38	35	32	33	32	50	51	50	53	45	44	494

(4) 療育指導教室（幼児のこぼ・こころの教室）

発達や発音等に何らか心配のある４・５歳児を対象とした療育を行っている。

定期的に、分室職員が集まり、研修会を開催している。

また、就学相談会へ参加する通所児の情報提供を行ったり、小学校で通級教室に通う児童の引継ぎを行っている。

・利用延べ人数

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
五軒	発達支援	相談	8	11	1	3	0	5	1	0	0	1	0	2	32
		指導	64	85	104	107	97	113	122	119	119	117	100	132	1,279
		面談	0	0	0	4	9	6	1	0	1	3	0	2	26
	言語指導	相談	3	1	6	2	2	3	8	0	2	0	2	0	29
		指導	28	29	28	35	29	34	37	36	46	46	33	47	428
		面談	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	6
緑岡	発達支援	相談	0	0	0	0	5	3	0	0	1	1	0	0	10
		指導	39	59	57	70	80	91	94	87	89	100	87	89	942
		面談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
百合が丘	発達支援	相談	15	5	5	3	4	1	2	0	1	1	2	2	41
		指導	42	70	81	87	84	96	102	98	109	107	94	116	1,086
		面談	2	0	11	11	1	1	3	0	0	0	0	0	29
	言語指導	相談	3	4	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	13
		指導	4	9	14	13	12	18	19	15	16	16	11	15	162
		面談	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
妻里	発達支援	相談	5	7	5	5	2	1	3	2	0	1	0	2	33
		指導	49	61	75	88	84	83	89	86	104	108	94	100	1,021
		面談	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	16	24
	言語指導	相談	0	11	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	16
		指導	26	19	25	27	37	40	34	25	33	38	23	35	362
		面談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 関係機関との情報提供及び連携

ア 医療機関等への紹介

当センターの利用児が医療機関への受診を希望する場合には、情報提供を行った。

令和７年度 １５件

イ 教育委員会への情報提供

就学相談会に参加する分室利用児について情報提供を行った。

令和７年度 ８４名

ウ 母子保健からの情報提供

健診や事後相談等で当センターを案内された児の情報を母子保健係より提供を受けた。

令和７年度 ６６名

(6) 巡回訪問指導

水戸市在住の児童が在籍する幼稚園・認定こども園及び保育所等からの希望に基づき、水戸市心身障害児療育指導委員会の協力の下、当該施設を訪問し助言・指導を行った。

・実績

訪問園数（実園数） 43か所

対象児数（実人数） 153人

訪問回数（延べ回数） 132回

	訪問園数(実園数)	対象児数(実人数)	訪問回数(延べ回数)
認定こども園	7	32	27
幼稚園	0	0	0
市立保育所	11	43	38
民間保育園	23	73	63
その他の保育施設	2	5	4
計	43	153	132

(7) 福祉サービス利用に関する相談及び情報発信

障害児福祉サービスの相談・申請

児童発達支援、放課後等デイサービス等の利用に関する相談やサービス申請に係る業務を行った。また、児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所に関する情報発信を行っている。

令和7年度申請件数 78件

(8) 講演会、研修会、座談会等の開催

センター利用の保護者のみでなく、広く市民に対して発達障害についての理解を深める事業として、リーフレットの配布を行い、講演会、座談会等を実施した。

ア 講演会

- ・第1回 「水戸市の就学の流れについて」（対象 年中児、年長児の保護者）

講師 水戸市教育研究所 塩谷 敬子先生

5月29日（水）実施（16名参加）

- ・第2回 「グレーゾーンの児への理解と支援」（対象 支援者）

講師 茨城放送大学茨城学習センター客員教授 水口 進先生

2月1日（日）実施（52名参加）

- ・ペアレントメンター活用事業「先輩保護者のお話を聞きますか」

（対象 年中児保護者）講師 茨城県自閉症協会保護者

2月27日（金）実施（10名参加）

イ 親支援プログラムの一つである「ペアレント・トレーニング」講座を、臨床心理士を中心に開催した。

- ・通常版（全10回）5名参加
- ・幼児版（全5回）3名参加

ウ 1、2歳児と保護者向けにセンターの専門職による座談会（保育付）をセンターにて実

施した。

- ・第1回 言語聴覚士座談会「ことばの育ち・ことばを育む」

6月11日（水）午前2回実施（10名参加）

- ・第2回 心理士座談会「ほめるコツ」

7月23日（水）午前2回実施（9名参加）

- ・第3回 言語聴覚士座談会「ことばの育ち・言葉を育む」

10月8日（水）午前2回実施（9名参加）

- ・第4回 言語聴覚士座談会「ことばの育ち・言葉を育む」

1月14日（水）午前2回実施（10名参加）

- ・第5回 心理士座談会「ほめるコツ」

2月18日（水）午前2回実施（9名参加）

- ・第6回 言語聴覚士座談会「話すを支える『おくち』育て」

3月18日（水）午前2回（7名参加）

エ 茨城音楽専門学校に講師を依頼して音楽療法を年間12回実施し、56組の親子が参加した。

オ 気軽に相談できる場として、1回30分枠の「発達やことばの相談会」を月1回開催し延べ25名が参加した。相談は臨床心理士と言語聴覚士と一緒にあたり、なかにはセンターの療育などにつながったケースもあった。

3 療育指導委員会の活動について

(1) 概要

水戸市中心身障害児療育指導委員会（昭和63年度設置）は、関係機関及び学識経験者から市長が委嘱又は任命する17人の委員で組織し、発達につまずきや遅れ等のある児童やその保護者に対して、個々のニーズに応じて行うセンターの指導方法や援助方針に対して審議等を行うため開催している。また、専門部会委員によるセンター通所児観察や巡回訪問指導を実施している。

(2) 通所児観察会

専門部会の委員4名が担当。担当委員が2名ずつ2グループに分かれ、センターに通所している児童のうち、指導に特に困難を要する児童について観察及び担当保育士への指導等を行う。年2回実施。

令和7年度は、9月と2月に、2歳児、3歳児で実施。

(3) 巡回訪問指導

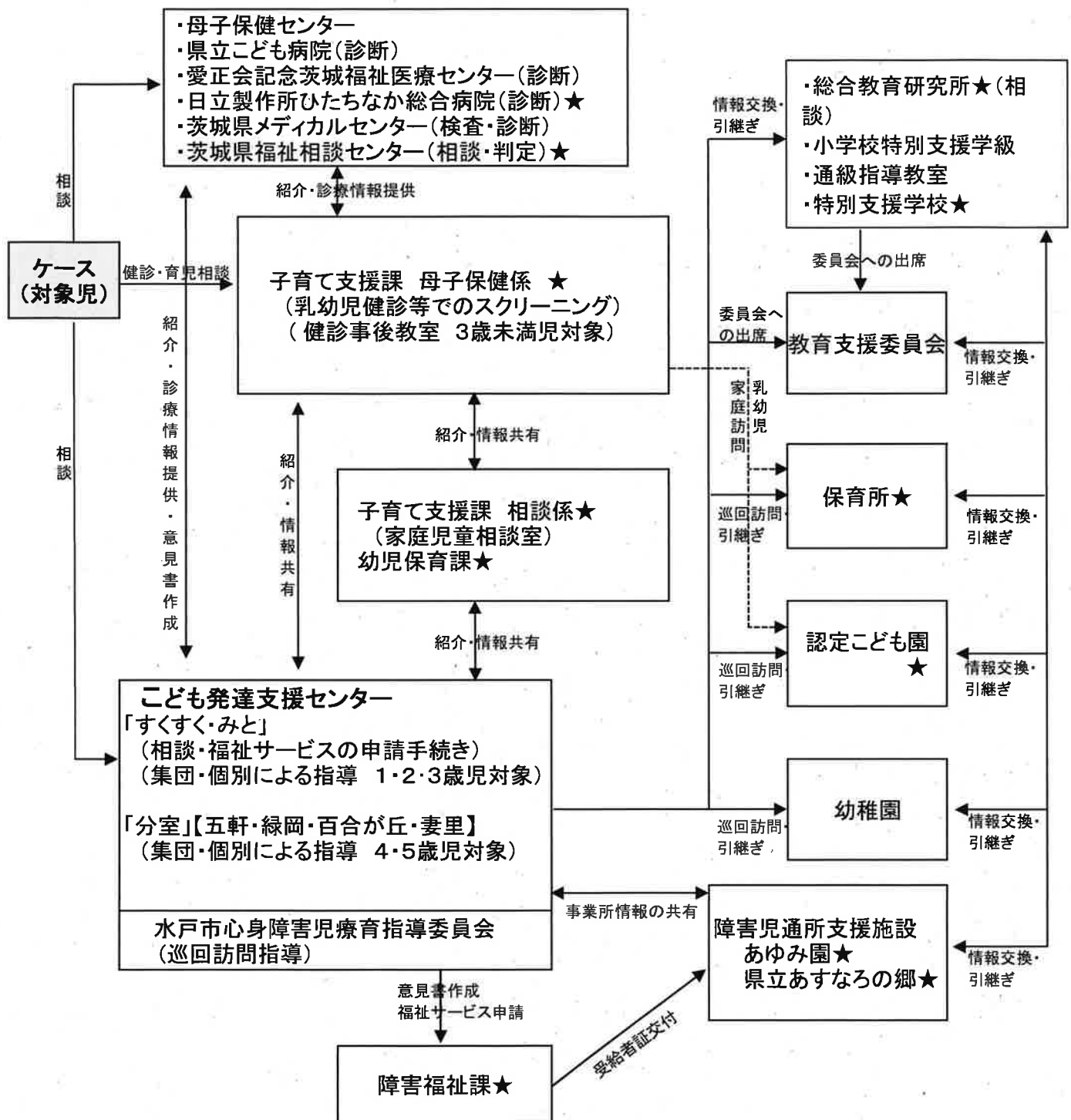
専門部会の委員4名が担当。『2事業内容 (6)巡回訪問指導』のとおり

(4) 会議開催

7月に第1回を3月に第2回水戸市中心身障害児療育指導委員会全体会を、2月に専門部会を開催した。

5・9・2月には巡回訪問指導担当者会議を開催した。

発達障害児(就学前)の連携機関



★＝水戸市中心身障害児療育指導委員会委員の所属先